

受講者アンケート集計（他大学・他学部）

演習科目：森林利用デザイン演習

担当教員：植木達人 他

実習日：平成29年8月28日（月）～8月31日（木）

受講人数：9名

他学部（工2名）

他大学（東大（院）1名，東農工大（院）1名，東大2名，日大1名，京大1名，和大大1名）

回答数：9名

■各講義・実習の評価

林分計画立案・間伐方法検討

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	1	7	1	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	3	6	0	0	0

【理由・感想】

- ・専門ではないのでわかりづらいところもあったが班の人の協力で少しずつ分かるようになった。(2)
- ・あくまでも体験ということで、情報量が少ない中での計画立案は難しかった。(2)
- ・間伐後にどうなったのかフィードバックの機会があれば良かった。
- ・林分計画を立てることの大変さがわかった。
- ・間伐する木を選ぶのが難しかった。
- ・学部生時に学んだが、実際に自分で施業体系図を作ったのは初めてで勉強になった。これまでの施業の資料があると良かった。
- ・農学部生でないため、基本的な知識が不足していて班の内業についていけなかった。
- ・間伐を行う際、どのように計画を立てていくかを知る事ができ、自分にとって有益な物になった。

間伐作業

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	7	2	0	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	9	0	0	0	0

【理由・感想】

- ・懸り木の処理や懸りそうな木への対処について体験し、間伐の大変さや安全に行う方法を学んだ。(3)
- ・径の大きな木をチェーンソーなどで伐倒したのは初めての経験だった。(2)
- ・初めてのチェーンソー作業を安全に進められるように指導していただいた。
伐倒作業の難しさや危険性が身に染みてわかったが、もう1本伐倒してみたかった。
- ・上手く伐倒できた。
- ・とても感動した。20M ぐらいの木を自分の手で切れたということは、他の皆にはない大きな強みとなったと思う。
- ・森林ボランティア等で木の伐倒経験はあったが、ここまで丁寧に教えて頂いたのは初めてだった。

集材作業

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	6	2	1	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	9	0	0	0	0

【理由・感想】

- ・スイングヤーダーと油圧式集材機を実際に操作でき、大変貴重な経験となった。(2)
- ・スイングヤーダーの体験がとても有意義だった。タワーヤーダも体験したかった。
- ・スイングヤーダーと油圧式集材機の操作が簡単で驚いた。エンドレスタイラー式について、完全に理解することができた。
- ・スイングヤーダーの地引中に材がどのような挙動を示すのか、参考になった。カムラーでの横取りも学べて良かった。
- ・大きな木材を谷から上へ引っ張りあげる集材工程に、スイングヤーダーという機械を使用することが理解できた。
- ・1年時に授業で集材方法を少し学んだが、実際に目で見ることによって理解がとても深まった。
- ・十分な操作体験時間があり、説明が丁寧で良かった。

造材作業

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	7	2	0	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	7	2	0	0	0

【理由・感想】

- ・枝払いがとても楽しかった。
- ・木の曲りを判定するのが難しかったが、慣れればすぐわかるようになるのだろうか。
- ・チェーンソーを上手く扱えるようになった。
- ・曲りの判定が予想以上に難しかったが、木取りの方法について現場で学べたことは大変有益だった。
- ・市場へ木材を出荷するには、1本の木を何本かにわけ直径などを記入することが必要である事がわかった。
- ・1本1本の木の曲りを見て、造材するのは大変だと感じた。
- ・曲りの無い太さのある木材を作る事が難しい事がわかった。
- ・難しくミスもしたが、失敗しても良いからという言葉がプレッシャーを軽くしてくれた。

高性能林業機械実習

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	7	1	1	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	8	1	0	0	0

【理由・感想】

- ・運転の機会はめったにないのでとても貴重だった。一番満足した。
- ・ハーベスタを自分で動かすことで、いかに優れた林業機械であるかがわかった。
- ・ハーベスタでもっと造材したかった。
- ・機械式集材機と比較して、操作が驚くほど簡単で感動した。作業時の騒音が小さいという印象を持った。

- ・最新型の機械で林業を学ぶ事ができた。特にハーベスタはそれだけで多機能を有しており、驚いた。
- ・造材においてチェーンソーとハーベスタを比べることができ、両者の労働負荷の違いを経験できたことは大きい。
- ・どれも初めて使うものばかりで、上手くは操作できなかったが、その良さを感じる事ができた。
- ・なかなか触る機会がない機械に触れることができた。

講義

楽しさ	大変満足	満足	普通	不満	大いに不満
	3	3	3	0	0
有益さ	大変有益	まあまあ	普通	あまり	全く
	3	4	2	0	0

【理由・感想】

- ・知っていることが多かったが同時に忘れていたことも多く、良い復習となった (3)
- ・作業の前に説明を受け、実際に作業に取り組むことで実感を持つことができた。
- ・3泊4日という期間で、森林の利用法についてかなりの知識が身についた。自分の学びたい分野と深く絡めることができると思う。
- ・講義より実習の印象が強く残った。
- ・作業で出てくる単語は知らないものが多かったが、講義があった為、理解することができた。

■演習参加後、興味・関心が増大した事。

ある	ない
9	0

1) 増大したこと

林業	林業機械	森林環境	木材流通・市場
7	9	1	3

【理由・感想】

- ・川下側、木材流通に目が向いていたが、山元の現場の感覚は現場でしか体験することができないと感じた。
- ・川上はもちろん、川中（川下）あたりまで学ぶ事ができた。自分の研究を進める参考になった。
- ・今まで木材の収穫作業をしたことがなく、新鮮な体験になった。
- ・機械を自分で操作したため。
- ・実際に林業機械を見たのは初めてだった。中高生時に見ていたら、工学部に行っていたかもしれない。もっと機械について調べてみようと思う。
- ・林業について深く知らずに参加したため、現場での状況全てが圧巻だった。林業機械についても、ハーベスタ等の高性能機械が流通する中で安全面も深く学びたいと感じた。
- ・現場で使用されている機械に実際に触れてみたことで、その機械の仕組み等に興味がわいた。
- ・安全で効率よく作業を行うために様々な機械や仕組みが凝らされていることに驚いた。
- ・木材流通について勉強しているが、より一層興味がわいた。特に小口の扱いなどが気になる。

■演習の内容、指導等についての要望、改善点

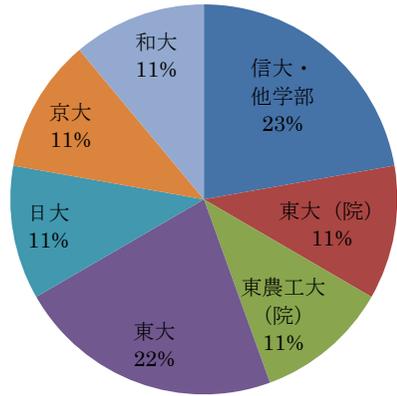
- ・間伐作業は危険を感じる事が多かった。イレギュラーな対応を職員の方がすることがあり、困惑することが多かった。

- ・内業を少し減らし、その分、現場作業を増やした方が良かった。
- ・材の流通についての講義があると尚良い。
- ・外業については手取り足取り教えて頂けたので、大変満足した。内業については、信大生から親切に内容や問題点を教えてもらえて助かった。
- ・本格的にとっても細かい所まで指導してもらい飲みこめない部分もあったが、復習をして定着させたい。そのため、もう少し資料があると嬉しい。
- ・ローテーションなので、前班にトラブルがあると 30 分くらい待つ時間があった。

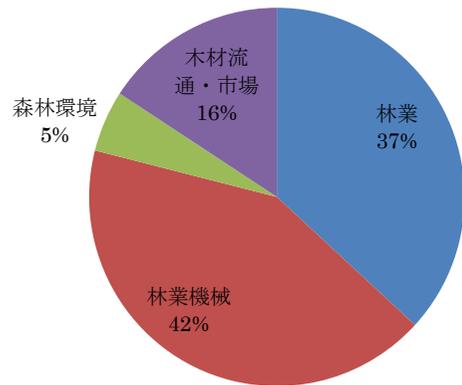
■フィールド、施設、設備について要望、改善点。

- ・食事の量が多すぎた。(2)
- ・宿舎が汚いので、掃除の回数を増やした方が良い。
- ・フィールドや施設には満足した。
- ・夜間に電気つけっぱなしのトイレに虫が多く侵入していた。
- ・部屋はとても綺麗だったが、トイレが汚い。

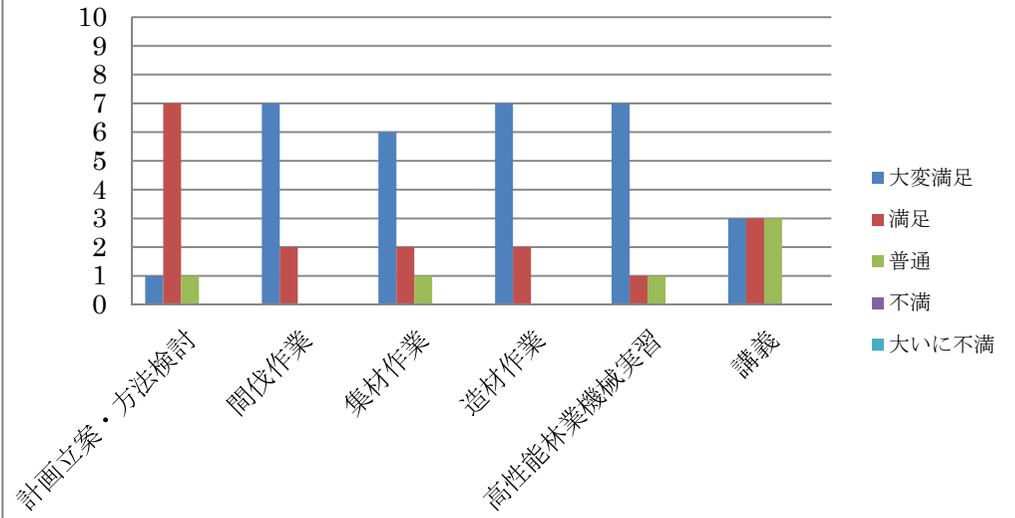
「森林利用デザイン演習」受講者内訳



興味・関心が増大した事



各実習・講義の楽しさ



各実習・講義の有益さ

